

【必修講習】

平成29年7月29日(土)

学校と子どもをめぐる教育の最新事情と発達の保障・支援の方法

(定員 120名)

午前中(前半)は小中高特教員と幼稚園教員で教室が分かれます。

時 間	内 容・講 師			
	小・中・高・特 教員		幼稚園教員	
9:20~9:30 (10分)	ガイダンス 2101 教室 (小・中・高・特)	こばやし ちえこ 小林 千枝子	ガイダンス 2202 教室 (幼)	いとう あつひろ 伊藤 敦広
9:30~10:50 (80分)	教育政策の動向と学校教育の 原理原則	小林 千枝子	教育政策の動向と幼児教育の原 理原則	伊藤 敦広
	教育政策をめぐる最新動向と、それゆえの教育課程上の新しい動きと留意点を概説する。教師の仕事の中心である授業づくりや生徒指導についても、その要点を考察する。		幼児教育に関わる最新動向を政策的な視点や理論的な視点、実践的な視点から概説する。特に「子ども・子育て支援新制度」移行後の動向及び今後の教育・保育課程改革について扱う。	
休憩 (10分)				
全校種 2101 教室				
11:00~11:45 (45分)	幼児児童生徒の視点からの教育相談のあり方		にしただに けんじ 西谷 健次	
	幼児児童生徒一人一人に対して、きめ細かく対応するための教育相談のあり方について考察していく。児童生徒を取り巻く状況について概説したうえで、幼小中高の連携の在り方について考察する。			
休憩 (5分)				
11:50~12:35 (45分)	特別支援教育の現状と課題		のむら かつひこ 野村 勝彦	
	特別支援教育開始から約10年だが、世界の動向から「インクルーシブ教育」システムの構築が始まった。これらの現状と課題を整理する。			
昼休み (45分)				
13:20~13:50 (30分)	テスト		小林 千枝子・伊藤 敦広 西谷 健次・野村 勝彦	
13:50~16:00 (130分) うち休憩・移動 10分	子どもの学びと発達を保障する教師と保護者、そして地域社会との連携へ (1) 約50分の講義(小林担当) (2) 教室を移動して、小グループによる演習方式による議論 (3) もとの教室に戻って、担当講師によるグループ別議論の報告とコメント		小林 千枝子 伊藤 敦広 西谷 健次 野村 勝彦	

	<p>地域社会の人間形成力の低下とともに、子どもたちの自立の困難さが指摘されてきている。保護者と教師、さらには地域社会が手を携えてこそ、子どものよりよい発達が期待できる。しかし現実には、それが十分に実現しているとはいえない。講義では保護者の意向についても歴史的視点を交えて考察する。演習ではともに、保護者と教師たちのよりよい連携のあり方について、身近な成功例や失敗例などを語り合いながら各自が展望を開けるようにしたい。</p>	
16 : 00～16 : 20 (20分)	<p>演習の発表とコメント</p> <p>グループごとの議論を講師がまとめて紹介することにより、教育現場の現状や問題点を共有するようにする。そのうえで、講師全員がそれぞれの研究分野を踏まえてコメントする。</p>	
16 : 20～16:40 (20分)	<p>テスト</p>	<p>小林 千枝子・西谷 健次</p>
16:40～16:50 (10分)	<p>アンケート</p>	<p>小林 千枝子・西谷 健次</p>